



本校は、地域運営学校（コミュニティ・スクール）として4年目を向かえます。コロナ禍の制限下においても、タブレット端末を活用したり、学習活動を工夫したりすることで教育目標実現のために努力していきます。保護者、地域社会との連携・協力をさらに推進し、杉九小の子供たちのために、引き続き、職員が一丸となり全力で取り組んで参ります。

1 目指す学校 ・ 教育目標

目指す学校 「 一人一人がよさを発揮し、活躍できる学校 」

教育目標 「 **かしこく ゆたかに たくましく** 」

※自ら学び、考え、正しく判断・行動する、心身共に健康で人間性豊かな、未来を拓く子供 を目指します。

2 具体的な児童の姿

「自ら学び、自ら考え、主体的に判断できる子」(自立的、探究的な学習者)

- ① 「自分を大切にするとともに、他人も思いやることができる子」
- ② 「しなやかな心とたくましい体をもつ子」

3 目標達成に向けた方針と具体策

「かしこく」 自立的で探究的な学習者の育成

◇『杉九学習モデル』に即した指導を展開し、主体的・対話的で深い学び実現に向けた授業改善（学びの構造転換）を行います。

○児童自らが意欲的に取り組む「学び方」を重視し、自立的で探究的な学習者を育てます。

○知識・技能の確実な定着を図るとともに、日常生活で活用する機会の確保に努めます。

○「習得、活用、探究」の学習プロセスを踏まえた指導やICT機器、タブレット端末の活用を進め、課題解決力を高めます。

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組み、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」を育てます。

◇学習環境を整備します。

○話し方、聞き方、道具の使い方等、集団で学ぶ上での必要な学習態度を身に付けさせます。

『杉九スタンダード』を徹底させ、生活習慣を身に付けさせます。

◇『杉九家庭学習スタンダード』を提示したり、タブレット端末を活用したりして、家庭学習を推進します。

正課授業とつながる家庭学習を工夫することで、既習知識や日常生活で活用できる力を一層身に付けられるようにしていきます。

◇RTF教育ラボの協力による「放課後発展学習教室」を実施し、児童の学習意欲を高めながら「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」を育てます。

「ゆたかに」 豊かな人間性の育成

◇年間を通した教育活動により、「自分を大切にし、他者を大切にし、自分たちの生活を大切にする」子供を育てます。

- 『杉九スタンダード』を全校で徹底し、規範意識・実践力を育てます。
- 幼保小連携、東原中学校との協働、特別活動を中心とした「つながり」を大切にした活動を行い、子供たちの自己有用感を高める中で「いじめを許さない」態度や好ましい人間関係の育成に努めます。
- 思いや感動を共有する場を意図的に設定し、感動できる心、感謝する心、豊かな感性を育みます。

○様々な学習活動において、一人一人に有用感や満足感を味わわせ、自信をもって行動できる態度を育みます。

◇共感的理解を進め、一人一人を生かす指導・支援の工夫を行います。

- 一人一人の課題を的確に把握し、子供の思いや願いに沿った指導を行います。
- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制を充実させ、「すぎく教室」と連携して子供の心の安定を図ります。

◇地域と協働した「杉九まつり」や「もちつき」等を工夫して実施することで、子供たちが「つながり」や「かかわり」を体験的に感じる機会とし、地域を愛する心を育みます。

「たくましく」 たくましい心と体の育成

◇体力向上を目指し、体育科指導の充実を図ります。

- 体育科指導のベーシックを確認し、校内で共有、協働することで充実した授業を展開します。
- 正課授業においては、スモールステップや場の工夫などを行い、個々のできる体験を増やし、自信をもって活動できる児童を育成します。

◇運動の日常化を目指し、体を動かすことが好きな子供を育てます。

- 運動委員会の取組や校内環境整備により、運動の日常化を目指します。
- サーキット運動や全校縄跳びカードの活用を推進し、進んで運動する児童を育成します。
- 外遊びを奨励し、体を動かすことが好きになる機会を多く設けます。

◇保健学習、保健指導を適切に行い、生活リズムを身に付けさせるとともに、食育により自ら健康の保持増進を図ろうとする態度を育てる健康教育を充実させます。

◇オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを引き継ぎ、生涯スポーツを楽しむ態度、フェアプレーの精神、ホスピタリティの姿勢を実践できる力の育成を図ります。